

感染症ニュース！

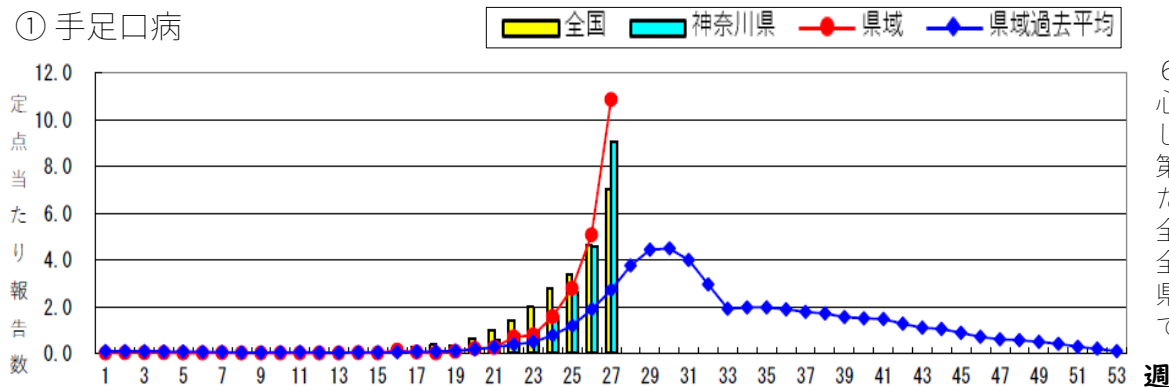
令和8年7月号

神奈川県および国内外で
気になる感染症を掲載しています。

＊県域とは、神奈川県内の市町村のうち横浜市、川崎市、相模原市を除いた地域です。

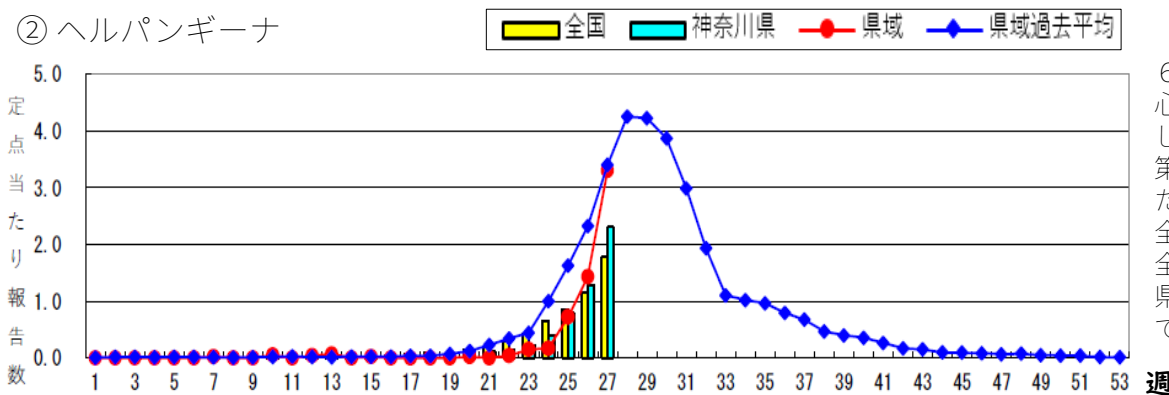
★ 6月の注目感染症

① 手足口病



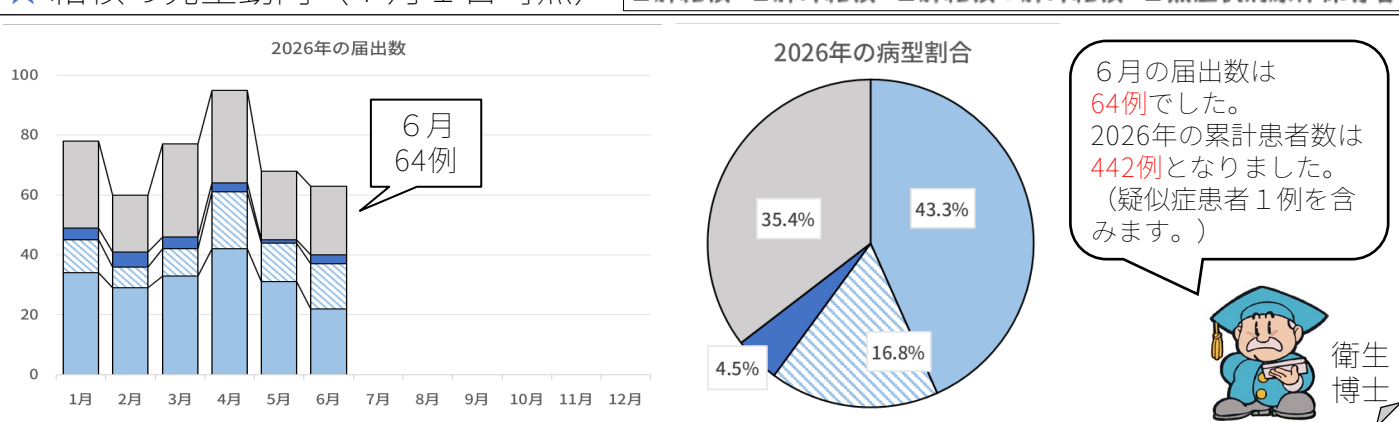
6月は、**1歳**を中心に報告がありました。
第27週での定点当たり報告数は、
全国 7.03
全県 9.09
県域 10.87
でした。

② ヘルパンギーナ



6月は、**1歳**を中心に報告がありました。
第27週での定点当たり報告数は、
全国 1.77
全県 2.30
県域 3.30
でした。

★ 結核の発生動向（7月1日時点）



★ 国内・海外で気になる感染症をご紹介します

・コンゴ民主共和国およびウガンダにおけるブンディブギョウイルスによる**エボラ出血熱（ブンディブギョ・ウイルス病（BVD））**は、症例数の増加と地理的拡大を伴い、急速に推移している。WHO（世界保健機関）によると、コンゴ民主共和国からは死亡者232人を含む計896人の確定症例（6月17日時点）が、ウガンダからは死亡者2人を含む19人の確定症例と死亡した1人の推定症例（6月18日時点）が報告されている。ウガンダにおける流行は、コンゴ民主共和国を起源とする感染伝播と疫学的な関連があり、国外からの持ち込みによる感染と、接触者や医療従事者の間での二次感染の両方が確認されている。BVDに対して承認されたワクチンや特異的な治療法は現在存在しないため、その対策は、迅速な症例の特定・隔離・ケア、接触者追跡、安全な埋葬、そして地域社会の強力な関与に依存している。

さらに、コンゴ民主共和国からフランスに帰国した医師がエボラ出血熱の検査で陽性となり、今回の流行開始以来、欧州で初となる輸入症例が確認された。ECDC（欧州疾病予防管理センター）はEU加盟国に対し、引き続き備えを強化するよう呼びかけると共に、患者の早期発見、隔離、および治療のための有効な措置が講じられていれば、EU/EEA域内において感染が持続的に拡大するリスクは極めて低いと強調している。（[WHO](#) [ECDC](#) 2026年7月1日アクセス）

衛生
ちゃん



神奈川県衛生研究所 感染症情報センター が作成しました。
お問合せはこちらまで↓↓
TEL:0467-83-4400(代表) FAX:0467-89-5211(企画情報部)



感染症情報
センターHP